

行政視察報告書

令和元年8月20日

長浜市議会議長 西邑定幸 様

長浜市議会議員

山崎正直 印



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 会派新しい風視察研修
2. 視察期間 令和元年7月25日(木)～26日(金)
3. 視察場所及び目的
 - ①群馬県前橋市
「フードバンク事業」について
 - ②㈱環境技研究所
「内陸型海水魚陸上養殖システム」について

4. 調査内容感想等

◇群馬県前橋市「フードバンク事業」について

前橋市では、平成29年6月から「まえばしフードバンク」事業が開始された。この事業は、群馬県内で唯一フードバンクを運営している NPO 法人三松会（館林市）に業務を委託し、市内に拠点となる「フードバンクまえばし」を設置して行うもので、自治体が委託方式によりフードバンク事業を実施することは、全国で初めての事例となる。「フードバンクまえばし」では、まだ安全に処分されてしまう食品などを個人や企業から無償で寄付してもらい、様々な事情により緊急で食糧支援を必要とする生活困窮世帯等へ配布している。



◇考察

この事業は生活困窮者の自立支援施策の一つとして、福祉の視点から事業を実施している。また、地域で行う子ども食堂や無料学習塾等を運営する団体に対し、食料やお菓子などを提供することにより、子どもの居場所づくりにも貢献している。予算は年間 1000 万円弱であるが、国庫補助事業の対象外になるので、すべて一般財源で賄われている。当市でそのまま取り入れるのは難しいと思われるが、子ども食堂を運営している団体は市内にも多くあるので、その声も聴きながらできる範囲で取り組みを検討していくべきであると考えます。

◇(株)環境技術研究所「内陸型海水魚陸上養殖システム」について

環境技術研究所では海水を注ぎ足さず水を循環させるシステムを開発し、ヒラメの活魚を養殖している。同社は平成 13 年に設立。海水魚の養殖は、大量の海水が必要になるなどの課題があったが、同社で開発されたのが水槽内の微生物に、有機物などの汚れを分解させ水槽の水質を維持する仕組み。さらに、水を濾過するなどしてきれいにし、水槽に戻している。住宅と同じような大きさの社屋の 1 回に大きな水槽（手作り）が 5 つほど設置され、一つの水槽に 100 匹を超えるヒラメが飼われていた。梅津先生の話は琵琶湖の鮎の飼育法にまで及んだ。まだまだコストがかかりすぎ、システムの量産はできないとのことだが、地域おこしの一環としてもさらなる開発が期待される。

